

2024 年度前学期 学生による授業評価アンケート総評

2024 年 8 月

浦安キャンパス FD・SD 委員会

本総評は、2024 年度前学期に実施した浦安キャンパスにおける「学生による授業評価アンケート実施結果」について、各学部学科及び教育センターによる集計結果分析に基づき、明らかになった課題、及び今後の授業改善に向けた方策についてまとめたものである。

1. アンケート実施結果の概要

(1) 実施期間

- ・2024 年 6 月 24 日（月）から 7 月 6 日（土）まで

（注）本学では、2019 年度後学期から 2023 年度後学期までの 4 年半に渡り、各学期 2 回（年間 4 回）アンケートを実施してきた。教育の質的改善の PDCA サイクルの一環として、当該期間におけるアンケート結果を検証したところ、1 回目のアンケートによる学生からのフィードバックが後半の授業に活かされた例が教員の結果分析に見られるなど、一定の効果があつたことが認められた。また、各学科・部門の授業に対する満足度の平均値は、いずれの回もおおむね高評価を得ており、さらに 1 回目と 2 回目の結果が大きく異なるわけではないことが分かった。このことを踏まえ、2024 年度前学期よりアンケート実施回数を学期の終盤 1 回のみとした。

ただし、授業改善の PDCA サイクル促進のため、授業期間の中盤にペーパーアンケート、manaba、respon 又は Google Forms 等を活用して授業の感想を得るなど、各授業の担当教員が、授業期間中の任意の時期に任意の方法で、授業評価とは異なる形で学生から授業に関する意見等のフィードバックを受け、当該学期中の授業改善に取り組むこととした。

(2) 実施対象

- ・全教員、614 科目（ただしゼミの授業科目、履修者 5 名以下の授業科目、及び再履修者のみが履修する授業科目は除く。また、1 教員あたり同一名称の授業、科目が複数ある場合は、履修者最多の授業科目とする）。

(3) 調査方法

- ・Web 入力方式（スマートフォンやパソコン等を利用して、アンケート実施期間中の任意の時間に、Web ポータルシステムから回答）。

(4) 評価方法

- ・5 段階評価（5. 満足、4. やや満足、3. どちらともいえない、2. やや不満、1. 不満）

(5) 質問項目

- ・授業について7項目

(6) 回答学生数

- ・延べ 8,397名 (回答率 35.8%)

(注) 回答率は、有効回答者数÷履修登録者数で算出した。2023年度の同時期に行われた前学期2回目アンケートの回答率が31.0%であることから、低水準でありながらも、わずかに増加したことが窺える。

2. 集計結果と分析

〔表1〕は各項目における評価の平均値を学科別に集計したものであり、これをレーダーチャートにしたのが〔図1〕である。

2項目を除くほとんどの区分において質問項目の平均値が4点以上となっており、授業の質、及び自らの学修に対して高い水準の評価がなされていると言ってよい。質問項目7番「この授業に対するあなたの満足度をお答えください。」に対する平均値は「教養科目」で4.72、「日本語学科専門科目」「中国語学科専門科目」「HT学科専門科目」「特別科目」でいずれも4.5を上回るなど、高い水準であることを示している。

(注)質問項目3番「授業の内容をよく理解できましたか。」に対する「不動産学科専門科目」の平均値は3.98、質問項目6番「この授業で興味や関心が深まりましたか。」に対する「基礎教育科目」の平均値は3.98であり、わずかに4点にとどかなかった。

〔表1〕

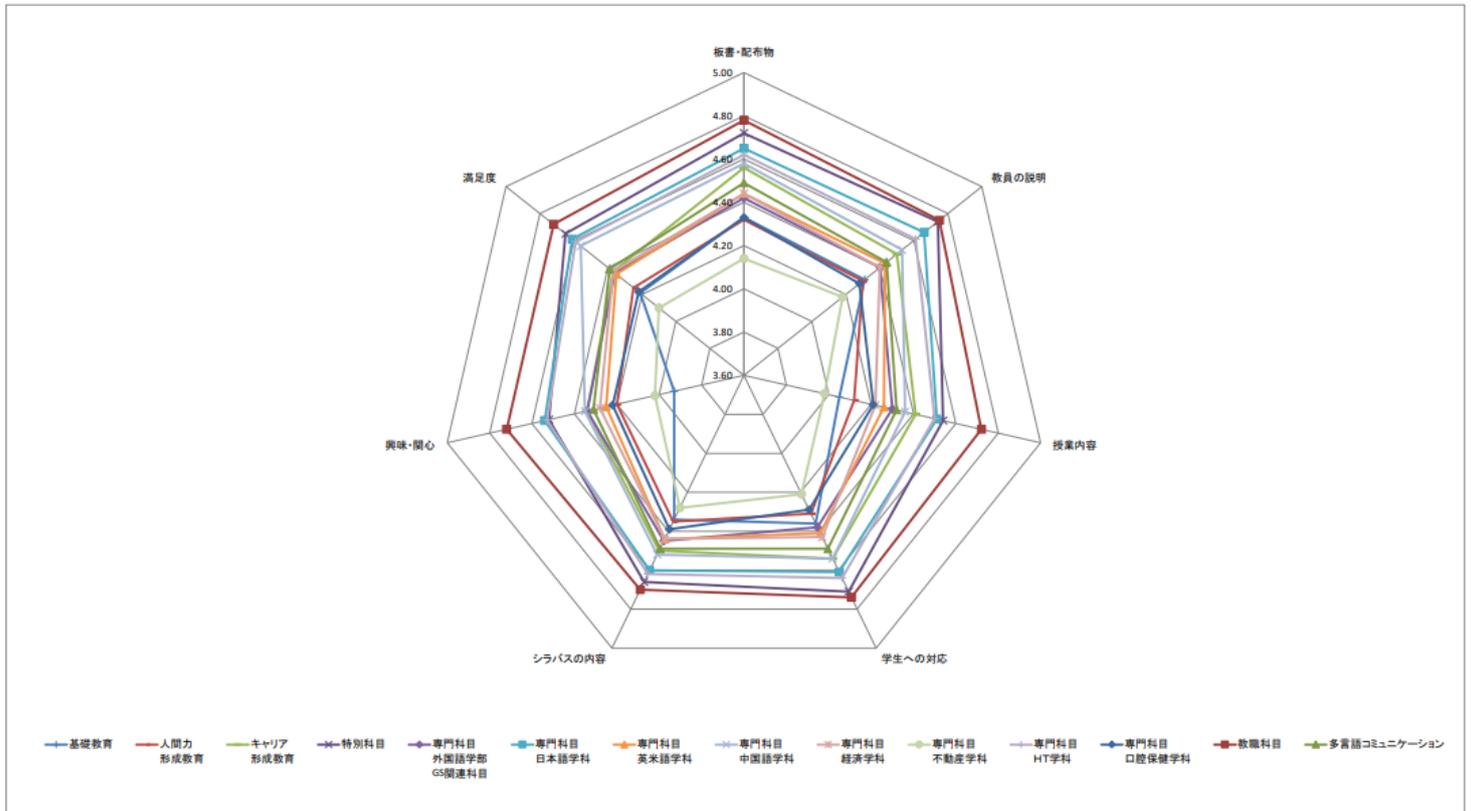
2024年度前学期授業評価アンケート集計結果(科目区別)

明海大学浦安キャンパスFD・SD委員会

	全体	基礎教育	人間力形成教育	キャリア形成教育	特別科目	専門科目 外国語学部 GS関連科目	専門科目 日本語学科	専門科目 英米語学科	専門科目 中国語学科	専門科目 経済学科	専門科目 不動産学科	専門科目 HT学科	専門科目 口腔保健学科	教養科目	多言語コミュニ ケーション
対象科目数	614	20	57	15	16	32	32	68	34	93	53	86	42	20	46
履修者数	23,461	538	3,120	653	243	1,300	1,328	1,575	440	6,092	3,072	2,020	1,707	385	988
回答者数	8,397	303	843	348	159	612	602	662	240	1,480	695	866	848	223	516

教員	No.	教員文	基礎教育	人間力形成教育	キャリア形成教育	特別科目	専門科目 外国語学部 GS関連科目	専門科目 日本語学科	専門科目 英米語学科	専門科目 中国語学科	専門科目 経済学科	専門科目 不動産学科	専門科目 HT学科	専門科目 口腔保健学科	教養科目	多言語コミュニ ケーション
		平均時間(各選択肢を0分、15分、45分、90分、150分、180分として算出した平均時間(分))	26.88	22.34	18.98	56.11	32.91	28.16	28.21	21.06	26.12	41.28	29.23	18.94	25.96	24.58
A-2	1	板書(スクリーンの文字・画像等)・配布物は読みやすかったですか	4.33	4.32	4.56	4.72	4.42	4.65	4.44	4.58	4.44	4.14	4.62	4.33	4.78	4.49
	2	教員の説明はわかりやすく、授業の進み具合は適切でしたか	4.31	4.30	4.50	4.74	4.40	4.66	4.43	4.53	4.40	4.18	4.61	4.28	4.75	4.44
	3	授業の内容をよく理解できましたか	4.05	4.12	4.41	4.54	4.30	4.51	4.26	4.36	4.22	3.98	4.50	4.21	4.72	4.32
	4	教員の学生への対応(質問等)は適切でしたか	4.36	4.31	4.54	4.71	4.38	4.61	4.41	4.54	4.43	4.21	4.64	4.29	4.74	4.49
	5	授業はシラバスの内容に沿って実施されていましたか	4.34	4.35	4.50	4.66	4.45	4.60	4.44	4.52	4.44	4.28	4.62	4.39	4.70	4.49
	6	この授業で興味や関心が深まりましたか	3.93	4.20	4.34	4.52	4.34	4.54	4.25	4.35	4.28	4.02	4.53	4.22	4.72	4.31
	7	この授業に対するあなたの満足度をお答えください。	4.21	4.25	4.37	4.65	4.36	4.61	4.35	4.56	4.37	4.10	4.59	4.22	4.72	4.39
B-1	8	(教員自由設定項目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-2	9	(教員自由設定項目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

〔図 1〕



また〔表 2〕は、2023 年度前学期 2 回目アンケートと、2024 年度前学期アンケートの項目のうち、「この授業に対するあなたの満足度をお答えください。」の質問項目に対する平均値を比較し、一覧にしたものである。

〔表 2〕

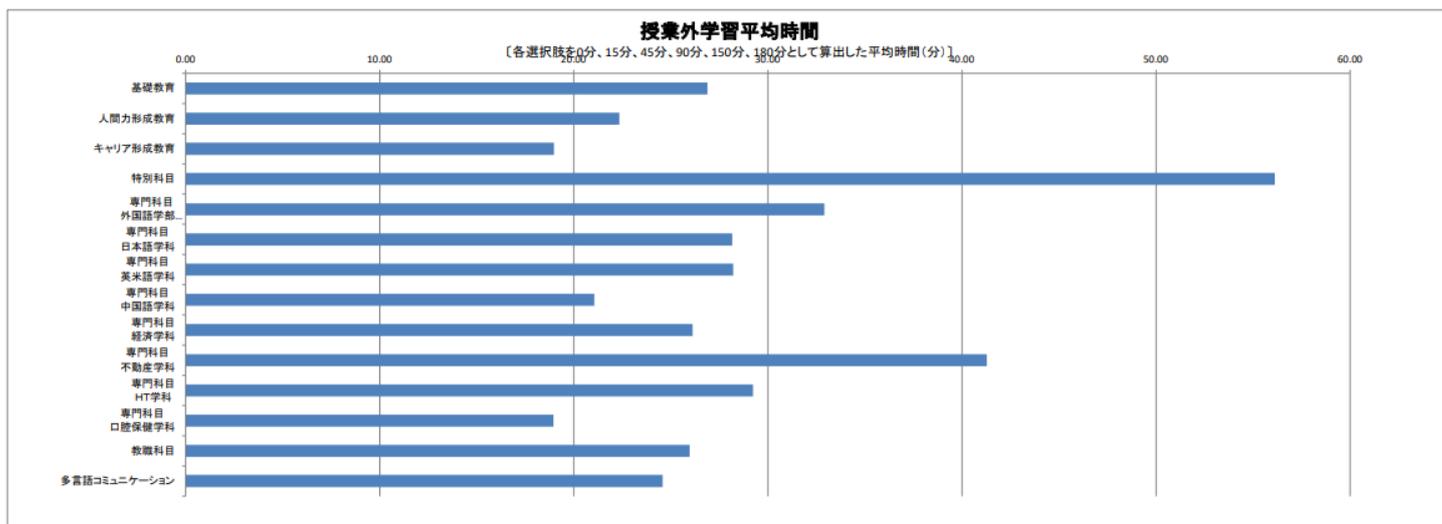
	基礎教育	人間力形成教育	キャリア形成教育	特別科目	専門科目 外国語学部 GS関連科目	専門科目 日本語学科	専門科目 英米語学科	専門科目 中国語学科	専門科目 経済学科	専門科目 不動産学科	専門科目 HT学科	専門科目 口腔保健学科	教養科目	多言語コミュニケーション
2023年度前学期1回目	4.39	4.40	4.31	4.76	4.40	4.46	4.31	4.62	4.39	4.19	4.52	4.13	4.77	4.45
2024年度前学期	4.21	4.25	4.37	4.65	4.36	4.61	4.35	4.56	4.37	4.10	4.59	4.22	4.72	4.39
増減	-0.18	-0.15	0.06	-0.11	-0.04	0.15	0.04	-0.06	-0.02	-0.09	0.07	0.09	-0.05	-0.06

これによると、「基礎教育科目」で 0.18 下降したのをはじめ、「人間力形成教育科目」「特別科目」「外国語学部 GS 関連科目」「中国語学科専門科目」「不動産学科専門科目」「教養科目」「多言語コミュニケーション科目」で減少傾向が見られたが、その一方で「日本語学科専門科目」で 0.15 上昇したのをはじめ、「キャリア形成科目」「英米語学科専門科目」「HT 学科専門科目」「口腔保健学科専門科目」で増加傾向が見られた。またいずれにせよ、0.2 以内の増減であることから、アンケート実施回数を各学期 2 回から 1 回にした

影響はほとんど見られないといえるであろう。

〔図 2〕は、各区分別の授業外学習平均時間である。長いものでも「特別科目」の 56.11 分、「不動産学科専門科目」の 41.28 分、「外国語学部 GS 関連科目」の 32.91 分であり、他は総じて短く、単位の実質化に向けて課題となろう。

〔図 2〕



3. アンケート結果から明らかになったことと今後の課題

(1) アンケート結果から明らかになったこと

前述のとおり、本学では、2019 年度後学期から 2023 年度後学期までの 4 年半に渡り、各学期 2 回（年間 4 回）アンケートを実施してきたが、2024 年度前学期よりアンケート実施回数を学期の終盤 1 回のみとした。この影響により、学生の授業に対する理解度、満足度等が減少することも懸念されたが、とりわけ授業に対する満足度については、増加傾向にある科目も少なくなく、また大幅に減少傾向にある科目も見られなかった。以上のことから、アンケート実施回数を各学期 2 回から 1 回にした影響はほとんどなかったと言える。

なお 2024 年度前学期よりアンケート実施回数は学期の終盤 1 回のみとなったが、授業改善の PDCA サイクル促進のため、授業期間の中盤にペーパーアンケート、manaba、respon 又は Google Forms 等を活用して授業の感想を得るなど、各授業の担当教員が、授業期間中の任意の時期に任意の方法で、授業評価とは異なる形で学生から授業に関する意見等のフィードバックを受け、当該学期中の授業改善に取り組むこととしている。今後もさしあたり、このような方法で授業改善を進めていくので問題ないであろう。

(2) 今後の課題

本学では、授業アンケートの結果、ほとんどの区分において質問項目の平均値が4点以上となっており、授業の質、及び自らの学修に対して高い水準の評価がなされていると言ってよい。ただし授業外学修平均時間は、いずれの区分においても60分に満たず、単位の実質化に向けての課題がある。

なお授業外学修平均時間の短さは、2023年度以前の授業評価アンケート総評においても問題視されており、「2023年度後学期学生による授業評価アンケート総評」には、「2021年度には高かったものの、2022年度から大幅に減少し、それが定着してしまったといえる。2021年度はコロナ禍のため一部に遠隔授業を実施していたが、その結果として、教室外での学修習慣があった可能性がある。」との指摘があった。授業外学修時間の確保に向けては、全学的に、継続的な改善への取り組みが必要であろう。

また授業評価アンケートの回答率が35.8%で、2023年度の同時期に実施された前学期2回目アンケートの回答率31.0%から微増している。これはアンケート実施回数を各学期2回から1回にしたことにより、学生の負担が減少したことによるのかもしれない。学生は毎学期、数多くのアンケートの回答を求められ、“アンケート疲れ”を起こしているとの声も聞く。授業評価アンケートを各学期1回にしたことにより、学生の負担が軽減され、その結果、回収率が増加したというのであれば喜ばしいことである。

ただ回答率35.8%という数値は、前年度比較で増加したとはいっても、決して高水準といえるものではない。約3人に2人がアンケートに未回答であるという現実には、目を背けずにいるべきである。アンケートに回答する学生は、そもそもその授業に好意的な学生であり、授業に不満を持つ学生はアンケートに回答していないということも考えられる。今後はさらにアンケートの回収率を高めていけるよう、全学的な取り組みが求められよう。